

令和6年度 芸術科 「美術Ⅱ」シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科 2 学年 1・2・3・4・5・6・7・8 組選択者
教科書	高校生の美術 2 (日本文教出版)	副教材等	鉛筆・アクリルガッシュ・彫金材料など

1 学習の到達目標

<p>美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てる。 感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。</p>

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	・表現とは何か	・鑑賞	1. オリエンテーション ・美術Ⅱの授業内容の参考作品を鑑賞し、学習内容について理解し、関心を深める。	発言内容 制作過程 完成作品 ワークシート 感想カード
	5	・絵画の役割と写真の発明	・デザイン ・鑑賞	2. 鉛筆による顔の写真模写 ・参考作品を鑑賞し、写真の明暗の調子をよく観察して鉛筆で顔を表現することを理解する。 ・13段階に分けたマスに、6B・2B・HB・Hの鉛筆を使い暗い色から明るい色へ調子をつける練習をする。 ・球体を明暗のグラデーションであらわす。 ・モチーフとなる顔のB5版コピーを用意し、裏面を鉛筆で黒く塗り、必要な線をパネルに転写する。 ・髪や顔の最も暗い部分を6Bの鉛筆で黒く塗り、この黒の濃さを基準に顔に明暗を鉛筆でつけていく。 ・ティッシュや擦筆を使い、調子をやわらかく整え仕上げる。	
	6	・ものの質感を生かして	・デザイン ・鑑賞	3. スクラッチによる生き物の写真模写 参考作品を鑑賞し、黒いスクラッチボードをニードルで削りハッチングで白い表現をすることを理解する。 ・ハッチングの表現が効果的な動物や鳥などのモチーフを選び、B5版の大きさにコピーし、裏面を鉛筆で黒く塗り、クラッチボードに転写する。 ・明るい部分から中間色、暗い部分へと、針の線の強弱や方向を工夫し、ハッチングの粗密の違いで明暗表現をする。	
7					
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第2学期	9	・デザインがもたらす統一感	・デザイン ・鑑賞	4. カプセルトイのアートディレクション ・アートディレクションとは何かを学び、デザインがもたらす統一感の重要性を理解する。 ・3～4人のグループになりブレインストーミングを行い、KJ法を用いてアイデアの抽出とテーマ設定をする。 ・グループワークでお互いのアイデアを見せ、意見を出し合い、ひとつの企画にまとめる。 ・グループワークで役割分担し、カプセルトイの商品開発(全5種)・値段設定・ターゲティングと、コンセプトボード・ロゴデザイン・レプリカの作成を行う。 ・グループごとに3分程度でプレゼンテーションを行い、他のグループの評価をする。それぞれのグループの作品を鑑賞し、表現の工夫などを感じ取る。	発言内容 制作過程 完成作品 ワークシート 感想カード
	10				
	11				
	12				

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第3学期	1	・身近なもので生み出す	・デザイン ・鑑賞	5. シルバーリング制作 ・参考作品や、すりだし技法を使ったリングの製作過程を示したスライドを通して、制作への関心を持つ。 ・サイズリングでサイズを測りサイズに合わせて銀板材を切る。銀板材の側面を直角にヤスリがけし、パーナーを使い銀ロウで接合する。 ・芯金棒に接合したリングを入れ木槌で叩き真円にする。その後表面、側面を棒ヤスリで磨きリングの原型を作る。 ・各種のやすりを使い削り出すことのできるリングのデザインを考え、デザインに合わせやすりで削り出した後、耐水ペーパー・金属研磨剤の順で仕上げる。	発言内容 制作過程 完成作品 ワークシート 感想カード
	2				
	3				

3 評価の観点

知識・技能	美術作品などの表現の工夫や美術文化について理解している。 創造的な美術の表現をするための基本的な技能を身に付けている。
思考・判断・表現	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的に表現しようとしている。
主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

4 評価の方法

知識・技能・制作過程、完成作品 思考・判断・表現・制作過程、完成作品、ワークシート 主体的に学習に取り組む態度・発言内容、ワークシート、感想カード 以上の3観点にもとづき総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守ってほしい事項など）

美術Ⅱでは美術Ⅰよりも発展した内容を学びます。定期考査のかわりに、完成作品と制作過程を評価して成績をつけます。作品の未完成・未提出が一切ないように、授業の時間内で作品を仕上げられるように頑張ってください。 色々な道具や材料を使って制作します。それぞれ大切に扱ってください。授業への積極的な参加、前向きな姿勢を期待しています。
